

石井町藍畑小学校「学力・学習状況」改善プラン

1 学力向上推進委員 職・氏名 ( 教諭・高力 一子 )

2 学力向上検討委員会構成

職 名	氏 名
校 長	檜 幸正
教 頭	橋本 順次
教諭・教務主任	竹内 正人
教諭・特別支援コーディネーター	平野 育子
教諭・低学年担当	立石 美佐子
教諭・中学年担当	遠藤 みゆき
教諭・高学年担当	河野 由美
教諭・研修主任	高力 一子

3 現状・課題

学 力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「学習や生活におけるアンケート」の結果、「学校がすごく楽しい・まあまあ楽しい」「授業がわかる・だいたいわかる」と答えた児童の割合は共に90%を超えている。しかし、自ら課題を見つけ、自分なりの考えをもち問題解決をしていく力や思考力・表現力はまだ十分に身につけていない。</li> <li>・昨年は2学期より週2回、各学年ごとに四則計算のプリントを朝の活動時間に実施した。週2回同じプリントをし、1回目で間違った問題は正しく直しをして、2回目には誤算が少なくなるように取り組んだ。ドリルの時間は集中して取り組むことができ計算練習を繰り返すことで苦手意識が薄れる児童も増え、効果があることを実感できた。</li> <li>・「平成19年度徳島県学力調査」の本校の結果を県のデータと比較すると、国語では「基礎的・基本的な力」をみる問題の正答率が県平均をやや下回っている。算数では正答率の分布が二極化しており、下学年の学習内容が十分に身に付いていない。</li> <li>・授業の改善を図り、「わかる・できる・楽しい授業」に努め学力向上を目指して取り組んでいきたい。</li> </ul>
学 習 状 況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ノーテレビデーの実施を守れたのは37%・毎日、新聞を読むは30%と低い。テレビやビデオを見たりゲームをしたりする時間を改善するよう指導する。また、新聞を活用した家庭学習に取り組めるようにしていく。ノーテレビデーの家庭への啓発が単発的で継続性がなかったため、今後の課題として改善していきたい。</li> </ul>

4 目標等

(1) 学力について

重点目標：学び方を学び、自ら学習する力を育成する。				
具体的目標	数値目標	具体的方策	評価	改善点
自ら進んで読書・詩歌の暗唱ができるようにする。	毎月の読書冊数(低10冊・中7冊・高5冊)を達成できるようにする。毎月詩歌を1編暗唱できるようにする。	毎月の読書冊数を達成できるように、読書カードに記録をし進んで取り組めるようにする。	4・3・2・1	
作文・書き取り・視写を毎日継続して実施し、表現力を高める。	原稿用紙に下学年50字・上学年100字程度の作文が書けるようにする。	全校で作文・書き取り・視写のどれかを毎日継続して実施する。	4・3・2・1	
「わかる・できる・楽しい授業」にするための工夫改善をする。	学習の振り返りカードを活用し、分かったという児童を85%以上にする。	自ら問題を発見し、自分で解決できるように問題解決学習を行う。 TT指導を充実する。	4・3・2・1	

(2) 学習状況について

重点目標：児童が家庭でも進んで学習する習慣を育てる。				
具体的目標	数値目標	具体的方策	評価	改善点
個に応じた家庭学習習慣を確立する。	「1日、15分×学年」時間以上は、家で勉強する。	見るテレビ番組を家庭で話し合っ て決め、1日2時間以内にする。ノーテレビデーを実施する。 新聞を読む習慣を身につける。		
			4・3・2・1	

※評価欄の上段には、各具体的目標における数値目標の達成状況について記入する。下段には、達成状況を「4 十分できた 3 概ねできた 2 あまりできなかった 1 できなかった」で判断し、該当番号に○をつける。